

資料 1

主な発表内容の概要

I LIVE IN
TSUKUBA
MIRAI.

令和3年第1回 つくばみらい市定例記者会見

令和3年2月24日(水) 午後2時～

発表内容の概要

- (1) 「withコロナ」に向けた取り組み
- (2) みらい平市民センター 8月24日開所
- (3) みらい平に郵便局が新規開局します
- (4) 予算規模
- (5) 主な歳入の内訳
- (6) 主な歳出の内訳
- (7) まちづくりの指針 6つのビジョン
 1. バランスのよいまちづくりの推進
 2. 福祉施策の充実
 3. みらい型農業の確立と地域産業の推進
 4. 安心して子育てできる環境の充実
 5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進
 6. 健全な財政運営の推進
- (8) お知らせ

(1) 「withコロナ」に向けた取り組み

※は2月5日の第2回臨時会で議決済み。

【R2年度補正予算】新型コロナウイルスワクチン接種事業 2億694万円※

- ▶ 2月1日に「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置。ワクチンの接種開始に向け準備を進めている。
また、予約コールセンターを設置して看護職を配置し、専門的な相談に対応できる体制を整え、円滑な接種を進める。

【R2年度補正予算】保育施設等従事者応援金給付事業 1,950万円※

- ▶ コロナ禍において、市民の生活を支えるために必要不可欠な保育事業の継続に努めている保育施設、放課後児童クラブなどの従事者に対し、応援金を1人につき3万円給付する。
 - ・ 保育施設等従事者応援金 550人×3万円 / ・ 児童クラブ従事者応援金 100人×3万円

◎上記のほか、令和3年度に実施する取り組み

- ・ 感染予防のための消毒薬など購入、市内医療機関へのプレハブ貸し出し等：581万7千円
- ・ スクールバスの3密回避、体温チェックアプリで健康管理：803万9千円
- ・ 「コロナ中退」の危機にある学生への支援（奨学金の上乗せ）：480万円
- ・ 避難所における感染予防のための備蓄品購入：242万4千円
- ・ ひとり親家庭への臨時応援金支給：811万5千円
- ・ 市議会における感染予防策（マイク増設等）：511万6千円

(2) みらい平市民センター 8月24日開所

みらい平市民センターの開所が
8月24日(火)に決定しました

- 1階：各種証明書の発行など市民ニーズの高い業務を取り扱う『総合窓口』
- 2階：妊娠から出産・育児・子育てまで切れ目のない支援を行う『子育て支援窓口』
- 3階：様々な市民活動を行うための場の提供や活動に関する相談などを行う『市民活動支援窓口』
- 4階：市の業務や市民の会合などに使用できる『会議室』



みらい平市民センターの外観イメージ

切れ目のない子育て支援と、市民活動のサポート体制の充実

(3) みらい平に郵便局が新規開局します

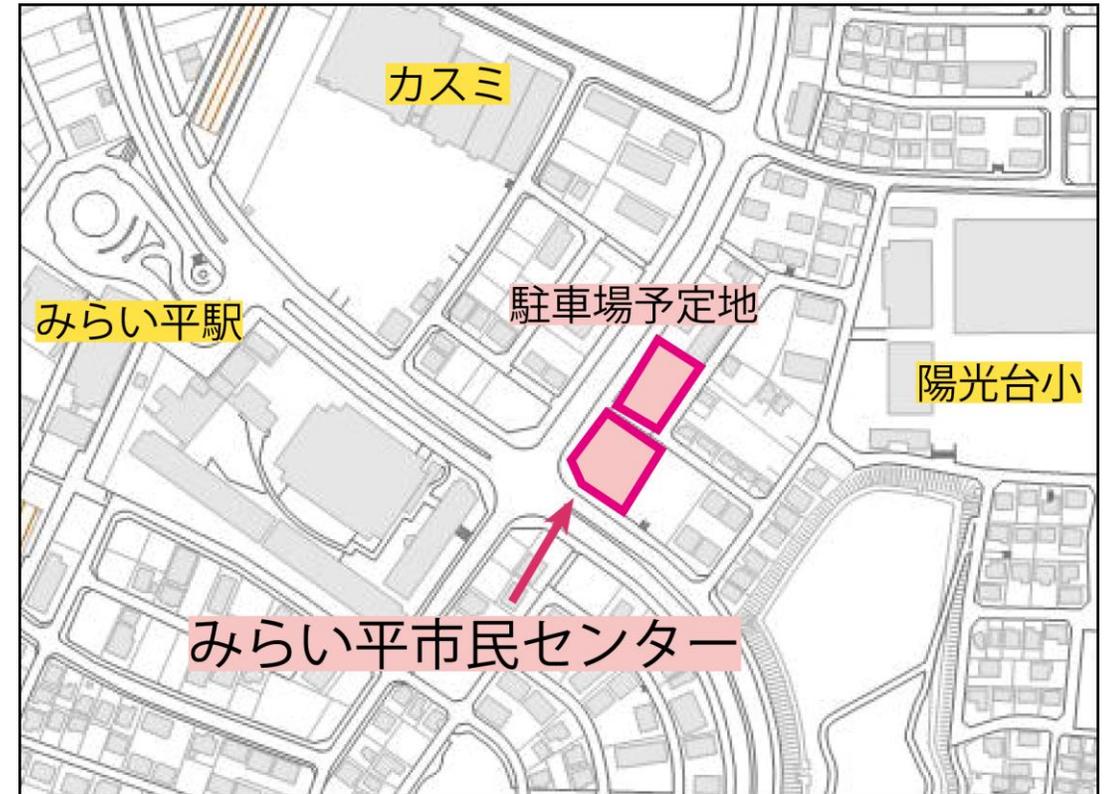
みらい平に**郵便局**の新規開局決定！

みらい平市民センターと同じ建物の1階に設置。
開局日も同センターと同日の8月24日(火)です。

- 名 称：みらい平郵便局
- 所在地：陽光台3丁目9番地1
- 開局日：令和3年8月24日(火)



◀ 2月18日に、日本郵便(株)関東支社から、新設についての正式な回答書をいただきました



待望の新局の開設で、
市民の暮らしをさらに便利に

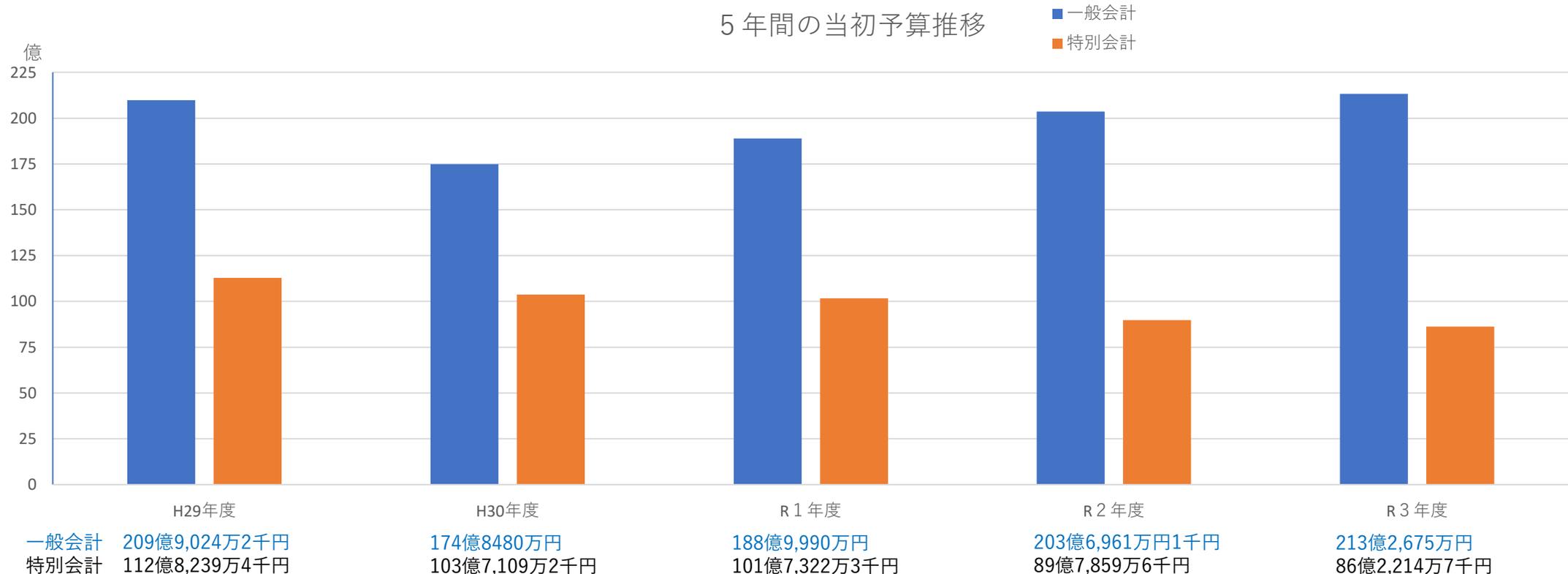
(4) 予算規模

●一般会計予算額 **213億2,675万円**

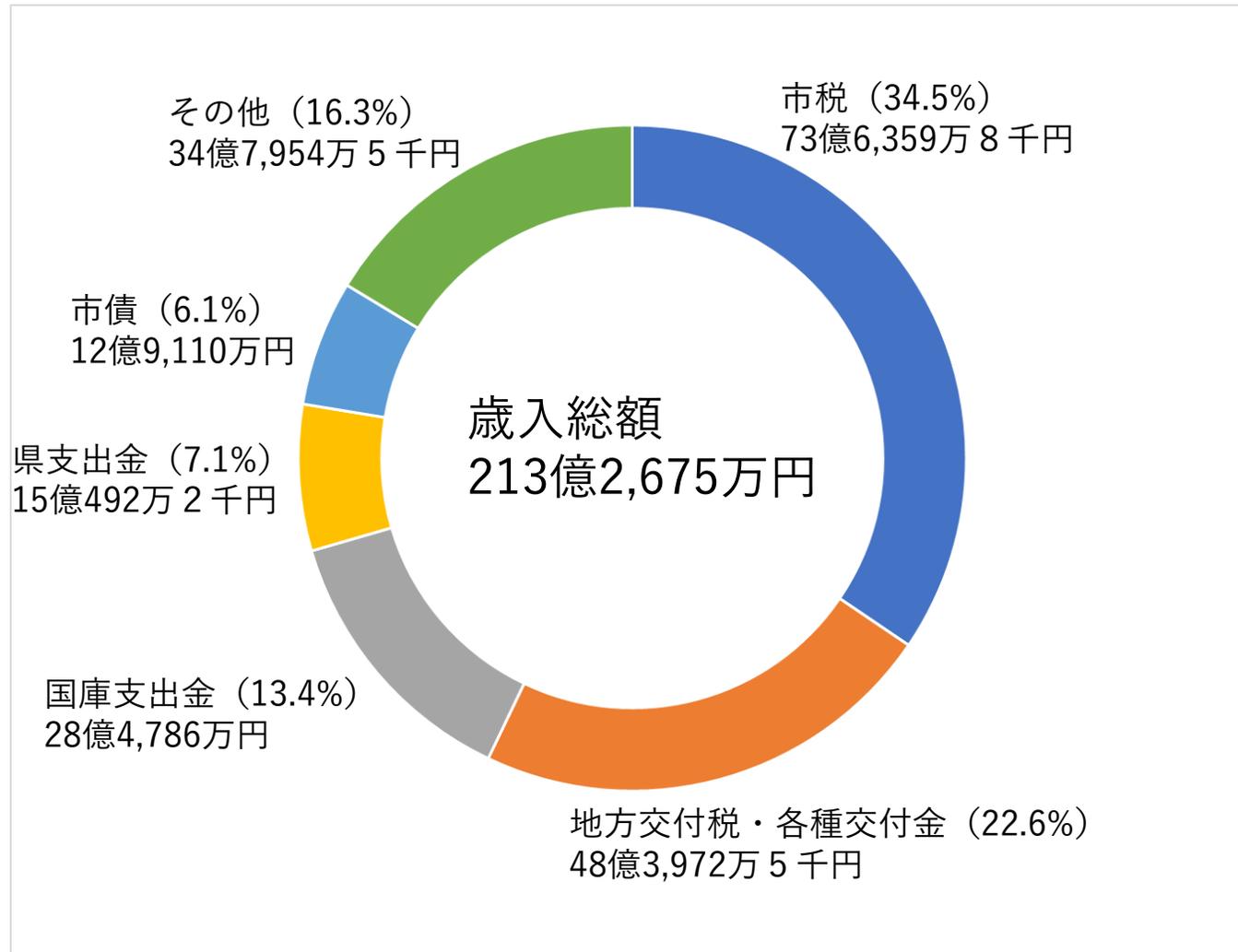
(前年度当初比 9億5,713万9千円 4.7%の増)

●特別会計総額 86億2,214万7千円

(前年度当初比 3億5,644万9千円 4%の減)



(5) 主な歳入の内訳



■ 主な増加 () 内は前年度からの増加額

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金
4億3,200万円 (4億3,200万円)
- ・ 地方交付税 27億9千万円 (3億8,093万1千円)
- ・ ふるさとづくり寄附金 10億円 (9億8,000万円)

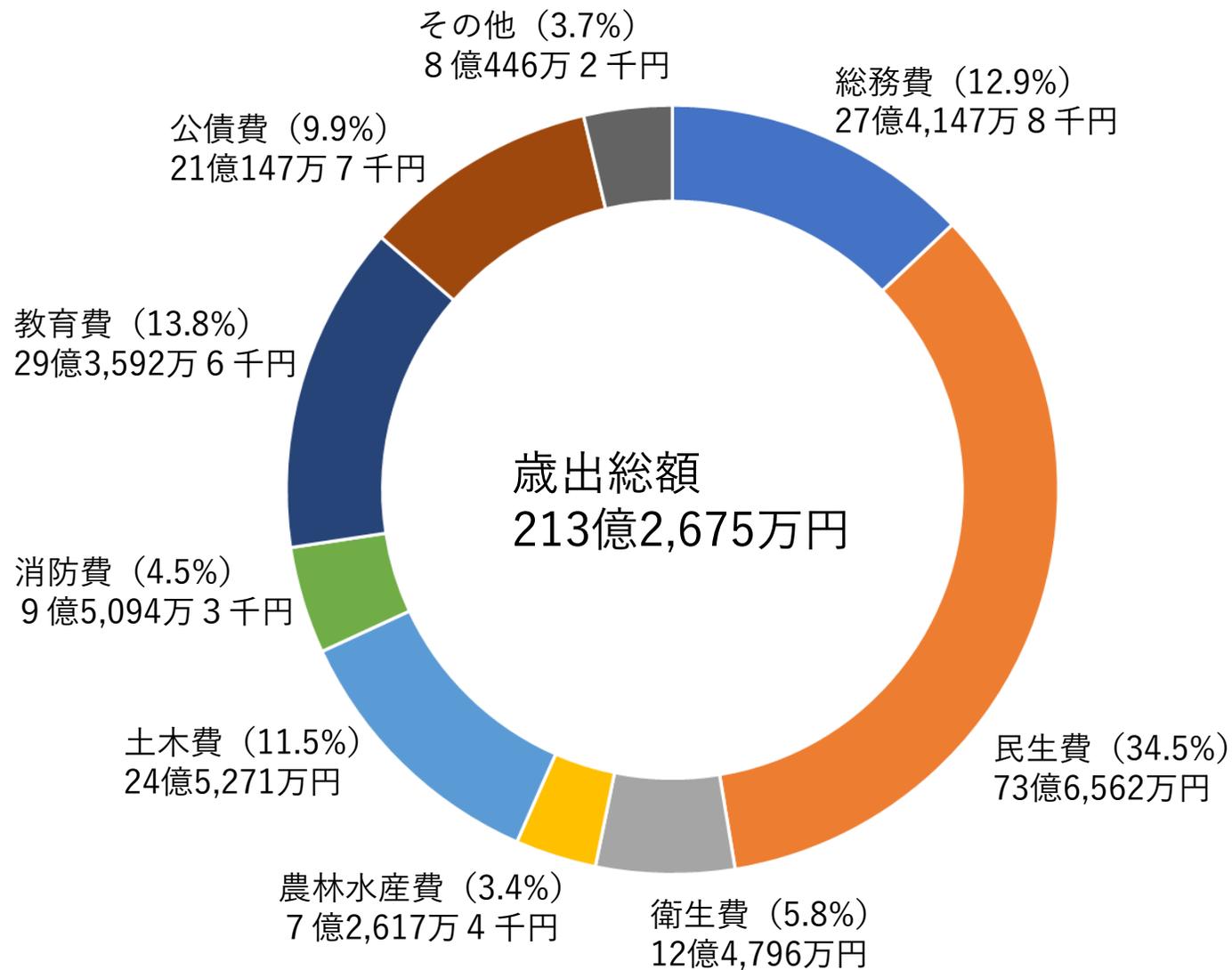
■ 主な減少 () 内は前年度からの減少額

- ・ 市税 73億6,359万8千円 (△8億5,600万4千円)

【内訳】

- ・ 市民税 △6億3,015万7千円
 - ・ 固定資産税 △2億3,239万2千円 など
- ※土地にかかる固定資産税などは増加

(6) 主な歳出の内訳



■前年度から増加

- ・総務費 + 9億111万8千円
- ・民生費 + 1億365万円
- ・農林水産費 + 2,910万5千円
- ・教育費 + 1億5,625万8千円
- ・公債費 + 8,144万6千円
- ・その他 + 4億6,832万8千円

■前年度から減少

- ・衛生費 △1,779万1千円
- ・土木費 △7,267万3千円
- ・消防費 △6億9,230万2千円

(7) まちづくりの指針 6つのビジョン

1. バランスのよいまちづくりの推進
2. 福祉施策の充実
3. みらい型農業の確立と地域産業の推進
4. 安心して子育てできる環境の充実
5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進
6. 健全な財政運営の推進

(7) まちづくりの指針 6つのビジョン

1. **バランスのよいまちづくりの推進**
2. 福祉施策の充実
3. みらい型農業の確立と地域産業の推進
4. 安心して子育てできる環境の充実
5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進
6. 健全な財政運営の推進

1. バランスのよいまちづくりの推進

新たな産業拠点の整備



【拡充】 福岡工業団地第2期整備事業 509万5千円

▶ 新たな産業系拠点の整備及び企業誘致を推進する。土地利用に関する地区計画策定業務を実施する。

【拡充】 東檜戸台線整備事業 2億4,476万5千円

▶ つくば・守谷方面へのアクセス及び地区全体の利便性向上、沿線地域の開発促進を図る。

【拡充】 スマートインターチェンジ整備等事業 1億9,289万円

▶ 道路用地買収や道路設計業務などを実施する。周辺の開発についても検討を進める。

(7) まちづくりの指針 6つのビジョン

1. バランスのよいまちづくりの推進
- 2. 福祉施策の充実**
3. みらい型農業の確立と地域産業の推進
4. 安心して子育てできる環境の充実
5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進
6. 健全な財政運営の推進

2. 福祉施策の充実①

高齢になっても安心して暮らせるまちづくり



【拡充】 病院バス運行事業 3,024万3千円

▶ 2ルートの病院バスを運行する。令和2年度に実証運行した「筑波学園病院」路線を本格運行させ、新たに「JAとりで総合医療センター」路線への実証運行を行う。

【新規】 高齢者等ゴミ出し支援 9万8千円

▶ 一定要件以上の高齢者、障がい者宅に週1回訪問し、ごみを回収する。

【継続】 緊急通報システム見守りサポート事業 1,108万8千円

▶ ひとり暮らしの高齢者が自立した生活を継続できるように、家庭内での事故等に対応するための体制整備と専門オペレーターを介した、見守りや相談などを実施する。

2. 福祉施策の充実②

支援が必要な方に寄り添える体制づくり

【拡充】生活困窮者自立支援事業 1,324万3千円

- ▶生活困窮のリスクの高い世帯が生活保護になる前の自立支援と、生活保護から脱却した人が再び生活保護に頼ることのないよう支援を行う。

【新規】基幹相談支援センター事業 1,186万2千円

- ▶障がい者の相談窓口として、基幹相談支援センターを設置し相談体制の強化を図る。

【新規】思いやりの環境づくり支援（合理的配慮支援事業） 55万5千円

- ▶障がいのある方に必要な配慮を行うためにかかるコミュニケーションツールの作成や折りたたみ式スロープ等を購入する市内事業者に対し、その費用を助成する。

【新規】自動運転車いす普及支援 60万円

- ▶介護従事者の負担軽減を図るため、本市と協定関係にあるピクシーダストテクノロジーズ(株)が開発する「自動運転車いす」を導入する施設へ支援を行う。

(7) まちづくりの指針 6つのビジョン

1. バランスのよいまちづくりの推進
2. 福祉施策の充実
- 3. みらい型農業の確立と地域産業の推進**
4. 安心して子育てできる環境の充実
5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進
6. 健全な財政運営の推進

3. みらい型農業の確立と地域産業の推進

農業の活性化へ向けた戦略的な取り組み



【拡充】スマート農業推進事業 93万3千円

- ▶井関農機(株)及び農業経営者と連携し、圃場で収集したデータを活用し、その圃場で品質・収量の向上及びコスト削減の検証を行う。



【新規】農業参入環境整備事業 116万円

- ▶(株)クボタ及び農業経営団体と連携し、農業への新規参入者の増加を図るため、農地・技術・機械など包括的な支援を実施する。



【拡充】農業機械等購入費補助事業 463万8千円

- ▶農業経営規模又は農業所得に関する3年以内の経営目標を設定し、必要となる機械の購入費の一部を補助する。

【新規】水稻ブランド事業 23万8千円

- ▶米・食味鑑定士協会の協力の下、新米の収穫期（秋）に「米コンテスト」を開催し、良品質な市内産米のPRを行う。

【新規】販路拡大支援事業 803万円

- ▶ピクシーダストテクノロジーズ(株)との包括連携協定に基づき、付加価値の向上及び販路拡大につながる支援を行う。



【拡充】水稻病虫害防除対策補助事業 3,990万円

- ▶稲の良好な生育をおびやかす「カメムシ」防除対策として、薬剤散布などを行う農家への費用補助を拡充（薬剤購入費の50%以内）する。

(7) まちづくりの指針 6つのビジョン

1. バランスのよいまちづくりの推進
2. 福祉施策の充実
3. みらい型農業の確立と地域産業の推進
- 4. 安心して子育てできる環境の充実**
5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進
6. 健全な財政運営の推進

4. 安心して子育てできる環境の充実①

子育て世代を「一人ぼっちにしない」サポートを拡充



【新規】 おやこ・まるまるサポート事業 [みらい平市民センター2階で実施]

▶子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一体的に行いより幅広く子育てをサポート

● 妊娠期からの子育て支援 3,290万1千円

▶妊娠期から子育て期に渡るまで、必要な情報を共有しながら切れ目なく支援を行うとともに、子育て家庭の個別ニーズを把握し、情報共有・相談支援を行いながら必要なサービスが円滑にできるよう、きめ細かい支援体制の構築を図る。

● 家庭児童相談 1,436万5千円

▶0歳～18歳の児童と保護者が抱える家庭内や教育上の問題などに対し、専門相談員が対応することで問題解決や不安解消を図る。また、要保護児童の居宅を訪問し、育児・生活状況の把握や食事の提供を通じた子どもの見守り体制の強化を図る。

● ひとり親支援 832万7千円

▶母子及び父子家庭や寡婦の福祉に関して実情を把握し、個人それぞれのケースに応じて自立に必要な相談や指導を行うとともに、健全な生活と社会参加を促し福祉の向上を図る。

4. 安心して子育てできる環境の充実②

教育の質を高め、グローバルな人材を育成



【新規】 グローバル人材育成事業 500万4千円

- ▶国際社会で活躍できる人材を育成するため、小学校で英語専科講師の配置、中学校で英語力アップサポーターを配置し、英語コミュニケーション能力の向上を図る。

【新規】 ICT支援員配置事業 815万9千円

- ▶GIGAスクール構想に対応するため、教員の補助をする支援員を配置し、ICT教育の充実を図る。

【拡充】 プログラミング教育実施事業 199万円

- ▶プログラミング教室実験セットの購入

4. 安心して子育てできる環境の充実③

「誰一人取り残さない」まちづくりへの取り組み



【新規】 ひとり親マル福を自己負担ゼロに 734万円

▶ひとり親マル福の自己負担額をゼロにする。

【拡充】 こども食堂支援事業 201万8千円

▶実施場所を1カ所増加し、6カ所で月に1回実施する。食材費などを助成し、運営を支援する。

【拡充】 みらい土曜塾学習支援事業 108万円

▶開催場所を2カ所増やし、市内4カ所で実施。児童の習熟状況に応じた学習支援を行い、学力向上を図る。

※事業費に前澤友作氏からのふるさとづくり寄付金の一部をあてています。

【継続】 ひとり親家庭への臨時応援金支給 811万5千円 **【再掲】**

▶ひとり親家庭の経済的負担の軽減と生活を支援するため、臨時的に応援金（一人あたり15,000円、対象者541人）の給付を行う。

※令和2年度も実施

【継続】 待機児童を早期解消するための公私連携型保育園補助事業 1億5,543万円

▶公私連携型保育所ふれあい第1保育園の耐震整備及び定員増を実施し、安全安心な保育の確保と待機児童の早期解消を図る。

(7) まちづくりの指針 6つのビジョン

1. バランスのよいまちづくりの推進
2. 福祉施策の充実
3. みらい型農業の確立と地域産業の推進
4. 安心して子育てできる環境の充実
- 5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進**
6. 健全な財政運営の推進

5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進

安心な住環境を守るための投資



【新規】空家活用補助金交付事業 120万円

- ▶空家の利活用を促進するため、空き家バンクへ登録した住宅の改修工事費や家財処分費の補助を行う。

【新規】空家取り壊し後も「住宅用地の特例」を適用させた税額まで減免

- ▶空家を取り壊した後も3年間、土地にかかる固定資産税の「住宅用地の特例」を適用させた税額を維持するため、取り壊し前の水準まで固定資産税を減免することにより、利活用をサポートする。
(200㎡以下は1/6、それ以上は1/3で税率軽減)

【拡充】住宅建築物耐震化事業 388万5千円

- ▶耐震診断士による耐震強度の診断を実施する。また、耐震基準に満たない木造住宅の「補強」工事だけでなく、新たに「改築」工事を対象に加え補助を行う。

【新規】地域防災育成事業 91万円4千円

- ▶地域防災力を高めるため、地域防災リーダーとなる防災士の育成と自主防災組織の結成促進を図る。

(7) まちづくりの指針 6つのビジョン

1. バランスのよいまちづくりの推進
2. 福祉施策の充実
3. みらい型農業の確立と地域産業の推進
4. 安心して子育てできる環境の充実
5. 安全安心を実感できるまちづくりの推進
6. **健全な財政運営の推進**

6. 健全な財政運営の推進

【拡充】 福岡工業団地第2期整備事業 509万5千円 【再掲】

▶新たな産業系拠点の整備及び企業誘致を推進する。土地利用に関する地区計画策定業務を実施する。

【拡充】 ふるさと納税制度を活用した税外収入の増加

▶市内事業者と連携を強化し返礼品数の増加やポータルサイトの拡充及び地域資源の掘り起こし。

【新規】 行政財産使用料に入札制度を導入

▶一律で徴収していた行政財産使用料に入札制度を導入し、自動販売機の設置料など、効率的な財源確保を目指す。

お知らせ

市のコミュニティバスで県内初導入となる「電気バス」の運行を開始します。
運行開始は令和3年4月1日からです。

令和3年3月2日（火）午前10時から伊奈庁舎で「電気バス試験運行出発式」を開催する予定です。

報道関係者の皆様には、改めて、お知らせさせていただきますので
ご取材のほどお願いいたします。